

健康と福祉の丘運営委員会資料

令和４年９月２９日

福祉課子育て支援室

認定こども園（幼保連携型）の建設について

保育を取り巻く環境

- 涌谷幼稚園、涌谷南幼稚園の園児数が増加、預かり保育（※）を利用する園児が増えたことで、教室が窮屈になっている。
※預かり保育とは… 幼稚園の所定の時間以外の7:00～9:00、13:00～18:30の時間帯も利用できる。また、土曜日、長期休業日の利用も可。共働き家庭やシングル家庭など「保育の必要性」のある家庭が利用できる。
- 令和6年度に町内進出企業が操業開始予定。従業員が働きやすい環境を整備するなど対応が必要である。

**町内幼稚園
預かり保育利用者数**

(令和4年5月17日現在)

幼稚園名	3歳児	4歳児	5歳児	計	うち 預かり保育利用			利用率
					3歳児	4歳児	5歳児	
涌谷幼稚園	20	19	19	58	15	10	13	65.5%
涌谷南幼稚園	15	24	21	60	13	18	15	76.7%
ののだけ幼稚園	12	6	7	25	5	2	4	44.0%
さくらんぼこども園 (幼稚園部)	11	20	18	49	9	17	11	75.5%
計	58	69	65	192	42	47	43	

経緯

こどもの丘保育所を運営するNPO法人みやぎ・せんだい子どもの丘(令和4年4月から社会福祉法人遊創の森)から、土地を購入し、認定こども園(※)を新設して、規模拡大したいとの意向が示された。

※認定こども園とは・・・教育・保育を一体的に行う施設で、幼稚園と保育所の両方の良さを併せ持っている施設。保護者が就労している、していないにかかわらず利用できる。

検 討

【ニーズ】

- ・ 各幼稚園の預かり保育利用状況から、保育ニーズが高いことがうかがえる。
- ・ 涌谷町総合計画、安心子育てプラン、企業立地に係る地域振興のための基本方針（令和3年3月策定）と整合性がある。

【事業者】

- ・ 現在、町内で子どもの丘保育所を運営し、実績がある。地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター事業）、乳幼児一時預かり事業を受託し、町の子育て環境向上に寄与している。
- ・ 県内では、仙台市をはじめ、大郷町、大和町、利府町で23か所の児童館や放課後児童クラブを運営している。また、白石市の屋内遊び場「こじゅうろうキッズランド」、利府町の文化交流センター「リフノス」の運営実績があり、安定的に運営されている。

【財政】

- ・ 町有地を購入してもらうことによる歳入が確保できる。また民設民営による運営費の削減につながる。
- ・ 子育て安心プランが採択されることにより、町にとって有利な補助率が見込まれる。

【その他】

- ・ 保護者の選択肢が広がり、安定した保育の受け皿が整備される。
- ・ 公立を含めた町全体の幼児教育・保育体制の整備が推進される。

建設地

涌谷町涌谷字中江南地内(天平の湯下 駐車場)

<予定地選定の理由>

私共、社会福祉法人「遊創の森」は、子どもたちが、遊びの中で、1本の木のようにならぬ力で、くすくす成長していきけるような豊かな土壌を作りながら、涌谷町の地域のみならず、そして保護者の皆様のお力をお借りして、涌谷町に「みんなの園」で一緒に子育てを楽しめるような「豊かな森」をつくっていききたいと考え、認定こども園を開設したいと考えております。

この認定こども園は、以下の理由で涌谷町涌谷字中江南222-2,222-3（現天平の湯駐車場）に建設したいと考えております。

①町民が集う「群れ子育て」としての場

現在の子育て世代は、少子化、核家族化、地域共同意識の希薄化などにより、経済的あるいは精神的に孤立する傾向が強くなり、家事、育児などのすべてを1人でこなさなくてはならない過酷な状態、いわゆるワンオペレーション育児になっていると言われています。

天平の湯、町民医療福祉センター、子育て支援センターが隣接するこの地では、涌谷町のいろいろな世代が集える場所です。この地にこども園を開設することで「新しい地域コミュニティの場」として、地域の大人も子どもも一緒にあって相互の交流を行いながら「子育てを助ける場」になりたいと考えております。

②豊富な自然

天平の湯の周りにある遊歩道や小高い山など自然に囲まれたこの土地は、保育をする上でとてもよい環境であると考えます。

自然の中で、五感をたくさん使って、本物の体験をして「感性を育む」ことは、「脳」の成長にとっても大切だとされています。子どもたちが「初めて本物に出会う感動体験」の場として有効に活用ができたかと考えております。

③子育て支援センターとの連携

私共がただいま運営しております「子どもの丘子育て支援センター」と隣接する場にこども園を開設することで、相互に事業や場所の連携を図ります。

④土地の傾斜こそが園庭にふさわしい

子どもの身体の発達には平坦な土地での運動より、いろいろな起伏や傾斜のある土地での運動の方がよいとの研究がなされています。ただいま保育では、起伏のある園庭が通常でトレンドです。
くぐる、よじ登る、這う、歩く、跳ぶ、のる、たつ、わたるなど起伏のある園庭で、幼少期に楽しく繰り返し返したくさんの身体の動きを体験することが、生涯にわたって身体を動かし健康を維持するために重要であると考えられています。この土地は、子どもたちの身体の発達に適していると考えております。

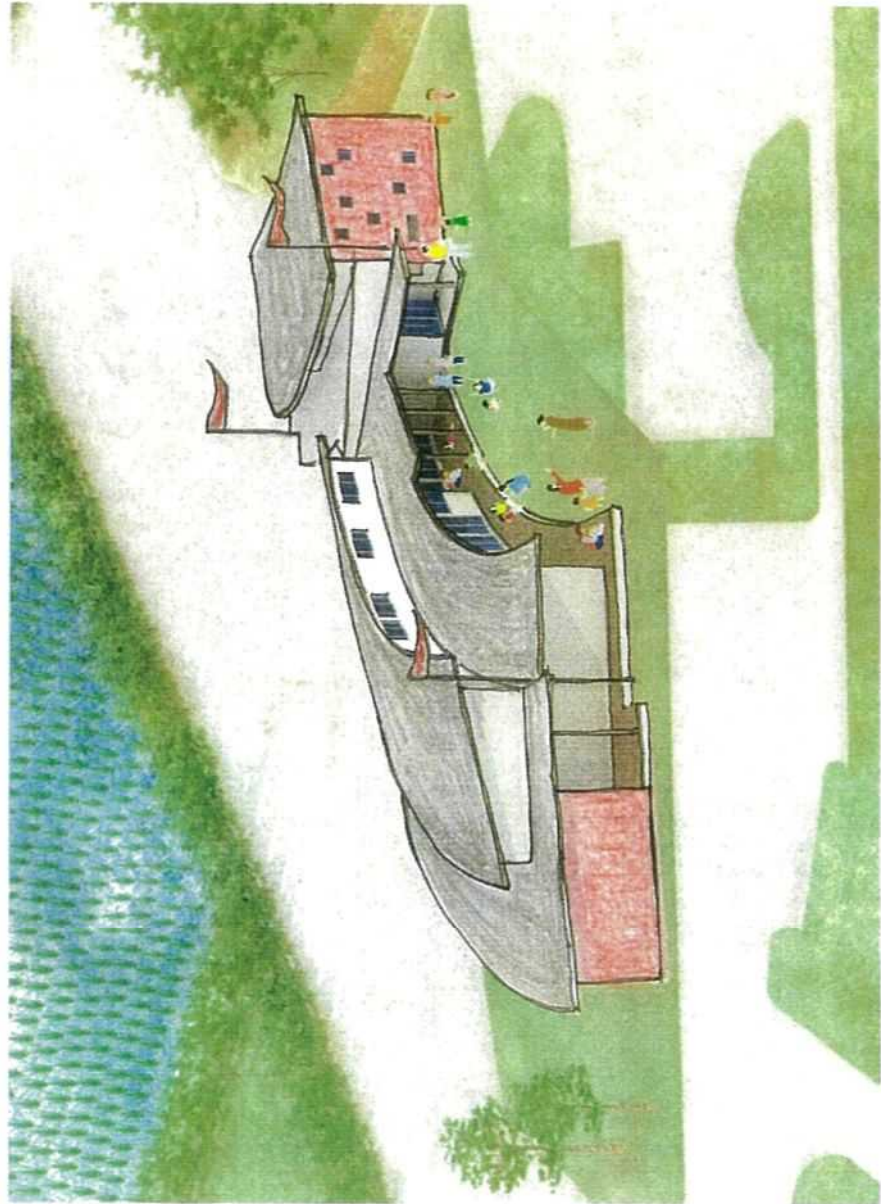
⑤地盤の強さ

今回こども園の候補地をいくつか視察しましたが、他の土地は、元田畑だった場所が多く、地盤が弱い、また土地が低く雨などに弱い場所でした。
この土地は、地盤も強く、こども園建設に向いていると考えております。

建設イメージ

<園舎概要>

敷地面積	1966.35㎡
建築面積	877.98㎡
延床面積	958.60㎡
構造	木造 一部2階建て



定員規模

(参考) R4.4.1現在 こどもの丘保育所

	園児数
0歳児	4人
1歳児	8人
2歳児	7人
計	19人



	定員	内訳	
		保育所 (7:00~18:30)	幼稚園 (9:00~13:00)
0歳児	6人	6人	
1歳児	12人	12人	
2歳児	15人	15人	
3歳児	23人	15人	8人
4歳児	23人	15人	8人
5歳児	23人	15人	8人
計	102人	78人	24人

今後の予定

令和4年 4月~6月		7月~9月	10月~12月	令和5年 1月~3月	4月
予算計上	町				
建設	事業者				
保護者説明会	事業者				
園児利用調整	町				
供用開始	事業者				

予定整備経費(概算)

○保育所等整備交付金

(保育所の定員に係る経費対象)

補助対象経費 226,034 千円

- ①国負担 1/2 113,017 千円
- ②町負担 1/4 56,508 千円
- ③事業者負担 1/4 56,509 千円

○認定こども園施設整備交付金

(幼稚園の定員に係る経費対象)

補助対象経費 87,070 千円

- ①' 国負担 1/2 43,535 千円
- ②' 町負担 1/4 21,767 千円
- ③' 事業者負担 1/4 21,768 千円

※子育て安心プランが採択された場合、国2/3、町負担は1/12(18,836千円)となる見込み。

合計

総事業費	380,000 千円
国負担(①+①')	156,552 千円
町負担(②+②')	78,275 千円
事業者負担(③+③')	+ 補助対象外経費) 145,173 千円

運営費試算

認定こども園を公営、民営それぞれで運営した場合

【公営の場合】

(単位：千円)

	金額	国県補助金	一般財源	利用者負担
1 職員人件費	104, 400	0	99, 400	5, 000
2 需用費	15, 600	0	15, 600	
計	120, 000	0	115, 000	5, 000

【民営の場合】

(単位：千円)

	金額	国県補助金 (3 / 4)	一般財源	利用者負担
1 保育委託料 (0 歳～5 歳児)	120, 000	90, 000	25, 000	5, 000
計	120, 000	90, 000	25, 000	5, 000

年間効果額 90, 000 千円